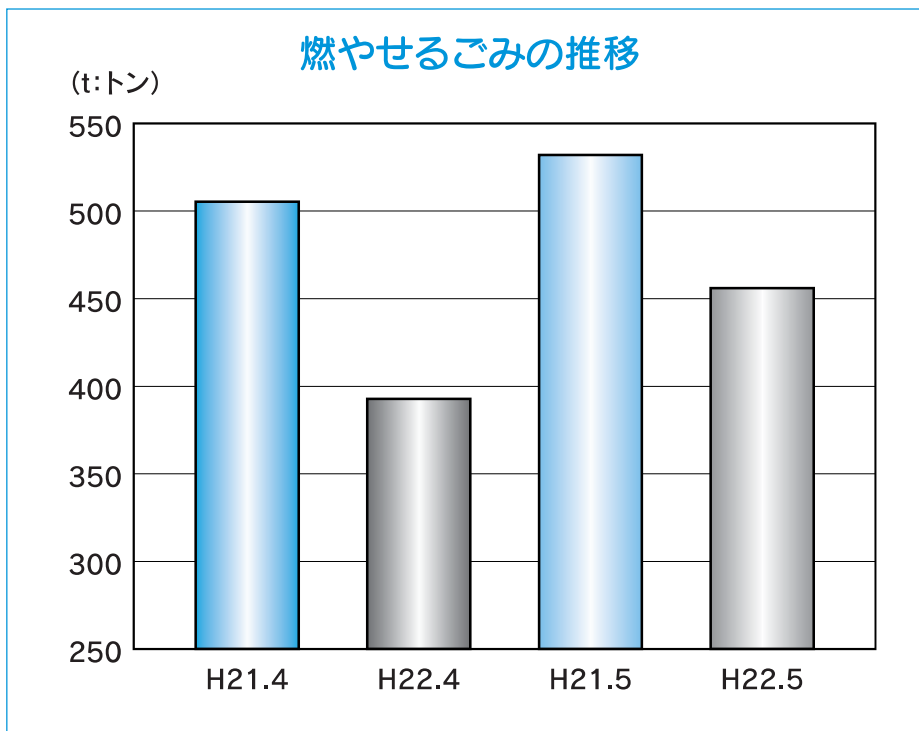


特集

4月・5月の燃やせるごみ減りまじみ減りました！

4月から新たに「プラスチック製容器包装(以下「プラ」)と「白色トレイ」の分別収集が始まり、燃やせるごみの量が前年同月に比べて4月は約22%、5月は約14%減少しました。



燃やせるごみ排出量

平成21年		平成22年	
4月	505.46	4月	392.72
5月	532.01	5月	456.06

プラ・白色トレイ排出量 (t:トン)

	プラ	白色トレイ	合計
H22.4	18.84	0.38	19.22
H22.5	21.91	0.43	22.34

プラとトレイを資源物として分別することによって、ごみに対する分別意識が高まり「その他の紙」や「布類」など他の資源物の量も増加しています。ひきつぎ分別にご協力をお願いします。

○ごみの減量化・資源化に向けた取り組みについて

ごみの分別収集をすることは、燃やせるごみの減量化や、限りある資源の有効活用、循環型社会の形成、さらには地球温暖化の防止にもつながります。

燃やせるごみの中には「生ごみ」が約45%と、「資源化できる紙」が約15%と多く含まれています。また、「プラスチック製容器包装」は約11%含まれています(平成19年ごみ組成分析調査結果より)。これらのごみの減量に取り組みましょう！

◆「賞味・消費期限切れの食品」を減らしましょう！

生ごみ45%の中に約15%の「賞味・消費期限切れ食品」が含まれています。計画的に買い物をし、残さず食べましょう。

また、生ごみの8割は水分です。みとして出すときは、水気を切りましょう。

◆「資源化できる紙」を分けましょう！

お菓子の紙箱、ティッシュペーパーが入っていた紙箱、メモ用紙など、「資源化できる紙」が燃やせるごみの中に約15%含まれています。

これらをリサイクルすることによって、燃やせるごみを減らすことができます。

①セロハンや粘着テープなど異物を取り除き、箱は空にして分別して出してください。

②ダンボール箱や紙袋に入れて出してください。(中身が出ないようにダンボールのみは交互に折り込み、紙袋は口を折りひもで十字にしばって出してください。)

③資源物「雑誌・その他の紙」の日にまとめて出してください。

〇ごみの分別Q&A

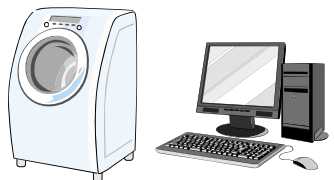
Q:「布類」の目に出せなく衣類は?

A:綿(わた)や羽毛の入っているものは全て燃やダウンジャケットなどや、汚れているものは「燃やせるごみ」になります。衣類(シャツ・トレーナー・セーターなど)や布類(タオルなど)は洗ってから透明か半透明のポリ袋に入れて出してください。

Q:電化製品などの小型の電化製品はいつ処分したほうがいいか?

A:小型の電化製品は50cm未満のものは、「不燃(埋立)ごみ」の目に出してください。50cm以上のものは、「粗大ごみ」になりますのでご自分でクリーンパーク茂原へ持ち込む(無料)か、持ち込むことが困難な場合は職員が自宅まで収集に伺います。収集の予約を住民生活課でしてください(収集運搬手数料1個800円)。ただし、パソコンやテレビはそれぞれ回収リサイクル方法が違いますので、ステーションには出せません。パソコンについては、各メーカー又はパソコン3R推進センターへテレビなどと家電4品目(テレビ、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫、冷凍庫、エアコン)については、家電リサイクル券センターへお問い合わせください。

問い合わせ先＝
パソコン3R推進センター
☎03(52282)76885
家電リサイクル券センター
☎0120(319)6400



ごみ分別の問い合わせベスト5

問い合わせの多いごみのベスト5を紹介します。今後の分別の参考にしてください。また、分かりにくいものがでた場合は、お気軽に住民生活課生活環境係まで、お問い合わせください。

問い合わせの多い品目	ステーションに出す日
1位 発泡スチロール	→ プラスチック製容器包装
2位 セーター	→ 布類(資源物)
3位 CDやビデオのケース	→ 燃やせるごみ
4位 米袋(紙製)	→ その他の紙(資源物)
5位 植木鉢(プラ製)	→ 燃やせるごみ

〇ごみを出す時のお願

- ・「プラ」と「白色トレイ」は別々の袋に入れて出すください。
 - ・一升びんは茶色と緑色のものを資源物「ビールびん一升びん」の目に出してください。それ以外の色の一升びん(黒色や透明など)は「びん・缶類」の目に出してください。
 - ・「その他の紙」で収集した紙は、水に溶かしてリサイクルするため、ラップの芯などの堅いものや紙「コップ」などの防水加工等が施されているものはリサイクルできません。それらのものは、「燃やせるごみ」で出すください。
- ▼問い合わせ先＝
住民生活課 生活環境係
☎(56)9127
☎(56)9131

マイバッグやふろしきを使って、環境のことを考えませんか?

地球温暖化防止とごみ減量化のため、マイバッグやふろしきを使いましょう!

一人一人では小さなことかもしれませんが、町全世帯で協力すれば、一年間で約612トンの二酸化炭素が削減できる計算になります。これは約120ヘクタール(いきいきプラザ敷地面積の約127倍です!)の50年生スギ人工林が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当します。

マイバッグやふろしきなどを使うことで、環境やごみのことについて考えるきっかけにしてみませんか? 町民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。



▼問い合わせ先＝栃木県環境森林部 地球温暖化対策課 ☎028(623)3187
住民生活課 生活環境係 ☎(56)9131